

会員の広場



人生第二ステージを迎えて

山本 建治（東京）

人生の第二ステージという言葉があるようですが、今年満68歳になる私は、まさにその段階にあたります。仕事から解放された後、自由時間をいかに過ごすか。各人各様の考え方があるところですが、私の現状を紹介させていただきます。現役引退の直後に考えたのは、ともかく体を動かすスポーツ系と頭を使う文化系の活動を両立させるようにしようということでした。

まず、スポーツとしてはテニスとゴルフです。テニスは勤務先だったニコン入社と同時に始め、以後、自己流テニスを続けています。うち週一回、ニコン時代の仲間4人とダブルスの試合を楽しんでいます。仲間といつても私以外の3人は先輩にあたり、70歳を超えているもののお三方とも元気にプレーします。現役時代を含めこのテニスとの付き合いは10年を超えてきましたが、仲間の一人でも健康面に障害が出てしまったら休会になる心配がつきまといまいます。

それもあって、テニスではもう一つ、地元調布稲門会でのプレーも楽しんでます。誘われたのは2年前それから週に一回2時間ほど汗を流すようになりました。調布市のコートが深大寺と多摩川の布田近くにあります。いずれも自宅から自転車に乗って行けます。同時に多摩川や野川の堤防道をサイクリングでき、四季それぞれに気持ち良いものです。深大寺コートの上は、時々帰りに畳屋の蕎麦屋に寄りますが、ビール、味噌

おでんが待っています。

もう一つのスポーツ、ゴルフは自宅の近く、歩いて行ける距離に練習場があります。ここで、毎月曜日にレッスンを受けています。1時間半に300球以上のボールを打ち、60代後半の今でも本格的なスイングを目指し、頑張っています。ホームコースは桜ヶ丘カントリークラブです。家から車で15分ほどと近いのが最大のメリットです。昨年は桜ヶ丘を含めて40回ラウンドしました。経済倶楽部の青空会にも4回連続出場しています。

一方の頭を使う文科系の活動ですが、一つは経済倶楽部への参加です。定例の講演会のほか、最近では物申す会、映画鑑賞も楽しんでます。

経済活動で、私がここ10年来、疑問に思っていることがあります。日本の金利がなぜかくも長期にわたって低いのかということです。倶楽部の講演に経済学者やエコノミストが見え、この問題についてお話される

ことがあります。論者のなかでも見解の一致はないようです。自分でも納得いく見解を求める姿勢を持ち続けたいと思っています。いずれにしても、先人の意見を聞ける機会はありがたいことです。

頭を使うでは、いま一つ、短歌があります。10年ほど前に毎日短歌教室に入ったのがきっかけとなり、その主宰者の来嶋靖生さんの誘いで、「槻の木」という短歌結社に入会しました。槻の木は同名の月刊誌を発行していて、会員は毎月15日締め切りで6首から10首の歌を提出する約束です。毎月の締め切りに追われつつ、それでも歌を詠むことを楽しんでます。先生からは、何があっても詠み続けることが大事と、励ましの言葉をいただいております。

以上、月曜にテニスとゴルフ、水曜に短歌、木曜にまたテニス、金曜には経済倶楽部講演会と、この週間日程を真剣かつ楽しみつつ日々を過ごすのが、「わが人生第二ステージ」となっています。